



学校運営協議会だより

立川市立第一小学校

コミュニティ・スクール (家庭・地域とともに歩む教育活動の推進)

令和3年度 第2号 (2021.11発行)

『黄色旗』(「横断中」)をお渡しします

日々、児童の登下校の安全確保にご協力をいただき誠にありがとうございます。

団体より提供いただきました旗を配布させていただきます。

お手数ですが、ご来校いただき副校長もしくは副校長補佐にお声がけください。

今後ともご協力の程よろしく願いいたします。



第2回学校運営協議会が開催されました

9月9日に予定しました第2回の会合は、緊急事態宣言発出下のため、当日の資料を事前に委員に送付し、意見等を寄せていただく形にての開催となりました。しかし、いつもの限られた時間では議論しきれない「思いのたけ」を皆さんに伝えることができると前向きに思えました。

開催にあたって

会長 伊藤真人

第2回学校運営協議会は、緊急事態宣言の発令を受け書面協議になりました。分厚い書類を一人で読み、考えを巡らせ、整理しながらキーボードを叩いていくことに、切なさを覚えました。充足感が全くありません。対面、が、いかに生きた交流の場、なのかを、改めて感じました。

遅ればせながら、ZOOM をインストールし、リモート会議の態勢を整えはしましたが、まだ一回も活用していません。しかし、リモート会議の様子を垣間見ると、本来の対面とは、相当な距離感があるのは否めません。たぶん、児童たちも、同じ思いになることでしょう。

一体、新型コロナウイルスは、いつ収束するのでしょうか。9月8日の学校公開は中止になり、放課後子ども教室《一小わくわくクラブ》も9月は全休になりました。早く再開できることを心待ちにしております。

協議事項

○【学校公開をご覧になられて】 6月の公開日の保護者アンケートをまとめたものをご覧になっての意見です。

・いかなる状況下でも工夫して実施に努めて欲しい。

・「保護者の声は重たい」との認識に立ち、よりよい学校づくりに全教職員で取り組んで行って欲しい。

○【教育支援・連携】 各部会からの報告の概要を文面からの引用で紹介します

【学校・地域・保護者の連携 教育活動】部会

○ハートフルボランティア活動

2年生の地域巡りの安全見守り。体力調査の測定補助。4年生のガサガサ体験の安全見守り。

○読み聞かせボランティアによる読み聞かせのテレビ放送

○地域の方々 2年生 生活科の授業でミニトマトの植え付け。 4年生 根川でガサガサ体験

【学校・地域・保護者の連携 安全健康】部会

○新型コロナウイルス感染予防のための校内清掃

○PTA交通委員会による自転車教室

【学校・諸施設の連携】部会

《柴崎学習館》

○水墨画の講師紹介 ○オストメイトの紹介

《柴崎図書館》

○開館前の1時間目に、一小児童が活用できるようになった。

○火曜日の5時間目に、あおぞら学級児童が国語学習と日常生活の練習を兼ねて、活用できるようになった。

《柴崎学童(柴崎第2学童)》

○夏季休業中に、サマー学童とともに、柴崎学童、柴崎第2学童にも体育館や校庭の貸出を行った。

○学校の緊急連絡が届くよう、柴崎及び柴崎第二の学童職員4名が、一小スクールメールに登録をした。



【小中連携】部会

○6月2日(水)、立川第一中学校区の小中連携活動が行われた。2年ぶりに3校(立川第一中学校・第四小学校・第一小学校)の教員が立川第一中学校を会場に集まり、3つの部会で話し合う。

(まなび部会) Chromebookを中心としたICTの利活用について

(こころ部会) あいさつ運動等、3校が連携した児童・生徒の健全育成について

(からだ部会) 小学生による部活動体験 中学生による小学校での職場体験活動

*「教育支援・連携」に関して寄せられた意見等

【学校・地域・保護者の連携 安全健康】部会の報告に対する意見

PTA運営委員会で善意の見守りボランティアの方々について話し合う予定です。何の保証もない中、児童の登校を見守ってくださっている地域の方々がいらっしゃる。PTAからの依頼であればPTA保険の対象となるので、便り等で善意見守りボランティアさんの把握をしたいと思えます。(米川委員)

【広く支援・連携に関連して】の意見

○立川市民科の教科化により、ますます地域との連携が求められる。

・腰を据えて話し込み、地域の協力を発掘する取組が不可欠。

・地域学校協働本部の充実が急務である。その中で、諸施設、中学校との連携が深化されることを切望する。特に中学校との連携については、教委が意図するところと保護者・児童が求めるものとの整合を図って進めて欲しい。

・教員が地域を知らない。知らしめる機会をつくる方策が求められる (撰梅委員)

○昨年度、学校外部支援、ボランティアについて便り等に記載、また、学校運営協議会委員に対して人材の確保との要望がありましたが、確保に至りませんでした。そこで、多くの方が気軽に学校に携わっていただけるようまずは学校運営協議会に登録してもらい、そこからコーディネーターを通じての人材確保に向けていく事を提案します。

(米川委員)

具体的な「登録フォーム(案)」の提案もありました。今後具体化しましたらお示いたします。(事務局)

○【教職員の任用】 寄せられた意見をそのまま掲載します

・30代、40代が多い、申し分のない構成だ。

・個々人が創造的な仕事をすれば良き学校となろう。管理職は個々の教員に取り組むべき課題を与え、自己申告の折々に検証していくことが重要となろう。

また、このことは当然、校内人事配置、さらには人事異動にも反映されるべきことであろう。(撰梅委員)

☞ お読みになられてのご感想ご意見等をぜひお聞かせください。

○【学校運営(経営)の改善 取組の現状・中間報告】 報告の概要の一部を文面からの引用で紹介いたします

*校長より

- ・学校運営の重点を「知」・「徳」・「体」の視点で3か月1サイクルで月ごとに定めた組織的・重点的指導が効果的に機能している。その取組の様子を毎月の学年便りや校内入口の掲示板に載せている。
- ・一人一人が学校運営の主体者との自覚に立った、「教育課題推進部」の取組が学校運営力を高めつつある。
- ・10月より、算数科において「地域未来塾」が開設される。併せて2～6年生児童対象の放課後補習教室(パワーアップタイム)において、より児童の学力実態に応じた継続的な支援の充実を図る。
- ・1学期の読書旬間の充実が図られた。期間中(6月14日～30日)の貸し出し冊数は、昨年度を大きく上回った。
- ・民間のスポーツクラブとコラボして体力向上授業や教員研修を実施した。Youtube 動画の活用による家庭と連携した体力向上の取組を継続中である。(本年度の体力テストの結果は「11月の学校だより」に掲載しました)
- ・2階昇降口の庇については、10月より、別素材の庇の設置工事がなされ11月に工事を終了した。
- ・感染症対策を講じながら、可能な範囲で平常時の状態に近づけて、保護者対象の各種行事を実施してきた。
- ・学校HPは、担当者によりほぼ毎日更新している。情報発信ツールとしての定着と効果が高まってきた。

*市村校務主幹より 教育課題推進部 うち3部会についての主な活動報告

部会名	主な取組
学力向上推進部会	<p>○全国学力・学習状況調査(6年生対象・5月27日実施)に向けて、これまでの出題傾向の把握や、調査票の形式に慣れさせるための取組を行った。児童がつまずきやすい傾向の問題については、事前に授業の中で重点的に学年全体で指導を行った。</p> <p>○6月から2年生以上の朝自習で算数科の東京ベーシック・ドリルへの取組を始めた。また、7月には東京ベーシック・ドリル診断シートを実施し、学年や個別の習熟度を把握し、今度の指導に生かすための分析を行った。</p>
体力向上推進部会	<p>○教員を対象に、体力調査の記録向上を目的とした体育の授業で行う準備運動(走・跳・投)の研修会を実施し、全学年における授業改善を図った。</p> <p>○体育館と校庭に体力調査の各種目の練習ができる場を設定した。また6月には、休み時間に体育委員会児童が希望する児童に教える体力調査練習会を実施した。</p>
GIGA・ICT 教育推進部会	<p>○教員を対象に、導入授業の仕方や、校内研究と関連させた話し合い活動におけるクロームブックの活用方法等の研修会を4月から毎月実施した。</p> <p>○長期休業中のクロームブックの持ち帰りや活用について計画、提案を行った。</p>

*「学校運営の改善」に関して寄せられた意見等

- ・教育課題推進部の活動に期待したい。ただし名称に難。これだと課題を推進するように見える。

⇒これに対して、校長より以下の見解が示されました。

「教育における課題には、その解決の姿が曖昧であったり、時勢とともに課題そのものの内容が変化してきたり等々、明確に解決を得たと言い切れないものもあります。今般本校の課題として部会を設置した課題も、その内容が解決を図れるというのではなく、「よりよい状態にする」「ねらいとする姿に近づける」ということを目指す対象と捉えています。この視点から、「解決」よりも「推進」することを目指した連続的、永続的な取組として位置づけ、名称を「教育課題推進部」としています。

本間義雄さんを偲ぶ

悲しいお知らせをさせていただきます。

本間義雄さんが、去る6月17日に逝去されました。享年 87歳でした。

貴重なお人を失い、悲しみに絶えません。

本間さんは、昭和37年から柴崎町にお住まいになられ、証券会社にお勤めの傍ら、柴崎町に、一小に、多大な貢献をしてくださいました。

本間さんは、地域ボランティアの`先駆者、`でした。南親会の自治会長を昭和55年~平成2年、平成6年~20年の永きに渡り務め上げられました。また、柴崎町の各種団体の設立に常に重要な役割を担われました。柴崎町体育会、柴崎町文化会、柴崎町グッドネイバなどです。また、平成2年創設の柴崎会館の運営にもご尽力くださいました。私的には、野球を趣味にされ、長きにわたり社会人野球の審判も務められました。

一小においては、七輪での炭起こしなど昔の家庭での`生活、`を、児童たちに判り易く、かつ楽しく指導してくださいました。また、算盤の講師としても活動くださいました。

放課後子ども教室《一小わくわくクラブ》の平成18年発足の仕掛け人は、他ならず本間さんで、初代の委員長に就任されました。わくわくクラブには、お亡くなりになられる直前まで関わって下さっていました。ありし日のお姿が目に浮かびます。

これまでのご功勞に対し、心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

ご冥福をお祈りいたします。合掌

(伊藤真人 撰梅正人)



第3回 学校運営協議会の開催について（予告）

日時:12月16日(木) 15時より(1時間程度)

場所:本校会議室

主な内容:学校経営の評価

学校経営の改善に関すること

本委員会の活動に関すること

協議会は公開です。どなたでも傍聴いただけます。

傍聴を希望される方は、前日までに副校長もしくは同補佐までご連絡ください

…編集子ささやき…

ニトリホールディング会長の似鳥昭雄さんのお話が、朝日新聞7・20付朝刊に載っていました。

ご自身が、「正真正銘の発達障害、ADHD」であると語り、「周りからは変わった人だと言われているんです。家内からは『あなたは誰でもやれるようなことはやれないで、誰もやらないことがやれる』と。障害のおかげで、人が考えつかないようなことを考えられる」、「人の欠点ばかりみて叱るのは最悪です。短所はもう仕方が無い、なおらないしね。親も、小さな頃から子どもの向いているものを探し出して『これ、やってみたら』と言ってあげることが大事です」と話されていました。朝からとてもさわやかな気持ちになれたことを覚えています。

余白ができましたので、記事を引用して少し長く書かせていただきました。

(Y.M)

皆様からのご忌憚のないご意見、ご感想、ご提案、叱咤激励等、心よりお待ちしております。

作成:米川・撰梅(委員) 編修協力:庄司(SSS)